

MatroxImagingLibrary ServicePack 6

物体検出

デモ内容

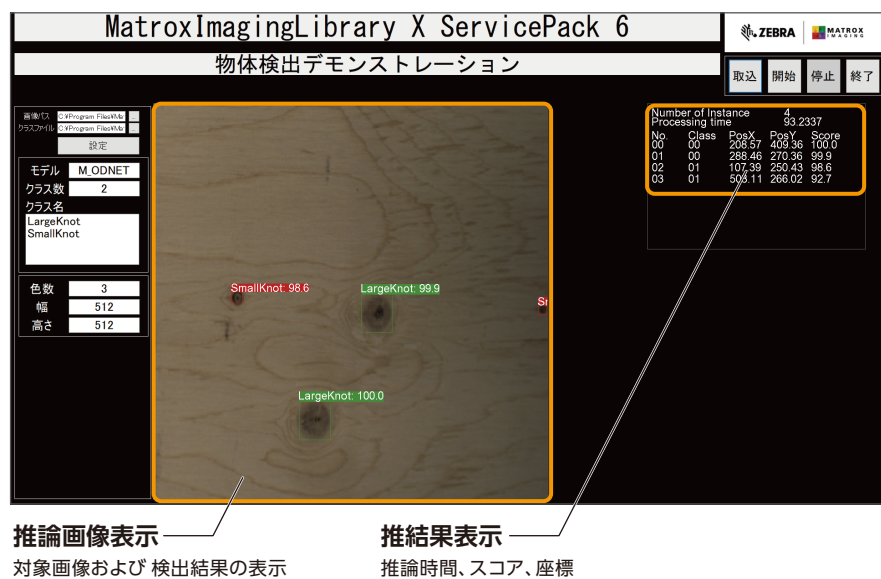
MILディープラーニングモジュールが物体検出に対応

見どころ

- 木材の節を検出し大小の分類を実施

処理内容

- ① 専用アノテーションツールを使用して検出クラスを教示
- ② GPU環境で事前学習を実施(約5分@RTX3080)
- ③ 画像を読み出し、推論を実施(CPU) **今回のデモはココ**



機能対応表	画像分類	物体検出	セグメンテーション	特徴分類	ONNX
画像全体の分類	SP4				
画像内のインスタンスを検出		SP6			
ピクセルレベルの分類			SP5		
数値データの分類				SP4	
インポートされたモデル					SP6

物体検出機能とは

画像内のオブジェクト(領域)のインスタンスを分類することを指します。通常、Matrox (ODNet) によって定義された定義済みの物体検出分類器コンテキストが必要であり、画像データセットコンテキストを使用して学習する必要があります。このような分類器を学習すると、画像内の類似オブジェクト(領域)のクラスを予測できます。